

# 第 18 回議会力向上会議記録（抄）

（26. 6. 25）

## 一、協議事項について

冒頭、本会議の座長に議会運営委員会委員長の吉川敏文議員が、副座長に議会運営委員会副委員長の吉川守議員が申合せにより就任する旨の報告があった。

次に、正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった（別紙資料参照）。

### 1. 平成26年5月定例会で試行中の議事運営の検証について

委員間討議について【議会基本条例第13条】

#### 【協議結果】

本件については、引き続き、8月定例会において試行することとし、事例を重ねたうえ、本格実施することを確認した。

次に、賛否が分かれる議案に対して、委員間討議を実施するうえでの課題について、各会派等から意見を聴取し、協議した。

#### 【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議会議員団	委員間討議を求める場合、原則、委員会開催日の2日前に申し出なければならず、これは質問通告時期と同時であるため、賛否が明確に分かれる議案かどうかを判断できない。したがって、委員間討議の申し出時期を委員会開催日前日の正午にしてはどうか。
大阪維新の会 堺市議会議員団	公明党堺市議会議員団に同じ。
ソレイユ堺	公明党堺市議会議員団に同じ。
日本共産党 堺市議会議員団	現行の申し合わせどおりとし、必ず委員間討議を実施するという点については、引き続き検討が必要ではないか。
長谷川 俊英議員	委員間討議の申し出時期を委員会開催日前日の正午とすることでよいが、委員の協議が整えば、委員間討議を行うこととするとしてもよい。なお本件に加え、常任委員会の審議日数についても、現在は1日であるが、状況によっては2日間とする等の検討を行っていくべき。

#### 【協議結果】

各会派等において賛否が分かれる議案かどうかに関わらず、委員会開催日の2日前（午後5時）までに委員間討議の申し出を行うことを原則とし、活発な委員間討議を促すことから、最終的に委員間討議を実施しない結果になるとしても、重要と考える案件については、積極的に委員間討議の申し出を行うことを確認した。また、委員間討議の討議時間（30分）は、現行の申し合わせどおり、委員長において、弾力的に運用できることを再確認した。

## 2. 改選に向けた対応について

### 議員定数削減に伴う対応

#### ①議場内の議員座席について（資料2参照）

##### 【協議結果】

座席の改修工事は行わず、議席番号13、30、31、52を空席とすることを確認した。また、理事者席3列目の環境局長及び健康福祉局長席は一部の議員席から見えにくい  
ため、理事者席3列目の配席について、議長席から見て、それぞれ1席ずつ左へ移動して  
着座するよう当局に申し入れることを併せて確認した。

#### ②常任委員会数及び定数について

##### 【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議会議員団	6常任委員会でよい。議長も委員に就任し、各委員会の定数は8人とする。
大阪維新の会 堺市議会議員団	6常任委員会でよい。委員定数7人の委員会があってもよい。
ソレイユ堺	6常任委員会でよい。委員定数7人の委員会があってもよい。
自由民主党 ・市民クラブ	所管事項も含め、現状の6常任委員会 でよい。なお、委員の定数について、少なくなるのはどうか。
日本共産党 堺市議会議員団	6常任委員会 でよい。議長が委員に就任する場合、各委員会の定数は8人とする。議長が委員に就任しない場合は、建設委員会を7人とする。
長谷川俊英議員	職務上、議長は委員に就任しないほうがよい。委員会の所管事項の組み換えも検討すべきであり、5常任委員会が望ましい。

##### 【協議結果】

本件については意見集約に至らなかったため、次回の議会力向上会議において、再度各会派等の意向を持ち寄り、協議することとした。また、政令市の状況について、資料を提示することとなった。

## 3. 議会報告会について

今年度の議会報告会及び開催方法等について正副座長案（資料4参照）をもとに協議を行った。

##### 【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議会議員団	今年度は従来どおりの開催形式で実施し、市民との意見交換については、テーマを特定してはどうか。また、議会報告会の今後の開催方法やテーマ設定の検証等については、改選後に協議してはどうか。
大阪維新の会 堺市議会議員団	回数については、できるだけ多く開催したいが、現実に合わせて対応でよい。開催方式は案1（常任委員会単位による報告会）の方式がよい。
ソレイユ堺	現実論は理解する。案2（特定テーマに関連した施設）の方式で実施し、これまで議会報告会に参加したことのない方に幅広く参加してもらいたい。
自由民主党 ・市民クラブ	従来どおりの開催形式でよい。開催場所については、本会議場では敷居が高く感じられるため、委員会室で開催してはどうか。

日本共産党 堺市議会議員団	今年度は従来どおりの開催形式でよい。市民との意見交換については、特定のテーマを設定してはどうか。
長谷川 俊英議員	今年度は8月定例会後の1回の開催が現実的であり、従来どおりの開催形式でよい。特定テーマを設定するのであれば「堺市議会及び堺市議会議員に望むこと」を提案する。

**【協議結果】**

8月定例会閉会後の10月又は11月頃に「第4回堺市議会 議会報告会」を開催することが了承され、市民との意見交換については、事前に特定のテーマを設定することを確認した。なお、特定テーマの内容及び開催日時については、周知期間を考慮し、8月定例会の議会運営委員会（8月26日）において協議し、決定する扱いとなった。

4. 議員研修会について

堺市議会議員研修会テーマ（正副座長案）（資料5参照）が示され、協議を行った。

**【協議結果】**

正副座長案のとおり、議員研修会の実施を決定し、日時については、10月7日（火）午後1時30分から開催することとした。なお、本件についてはあらためて議会運営委員会において確認する扱いとなった。

5. その他

長谷川議員より、本館11階の議会フロアにおける喫煙スペースを撤去すべきであり、各会派等において真摯に検討されたい旨の意見があった。

木畑議員より、このたび本市議会が早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング2013において全国3位となったことから、今後、更に上位をめざすべく上位議会の分析・調査等を行ってはどうかとの意見があり、事務局において調査等を行うこととした。

6. 第19回議会力向上会議の開催日時について

本件については、平成26年10月7日（火）午前11時から開催することとした。